

第3回平塚市総合計画審議会における意見とその対応

分類	該当頁	意見内容
1 人口減少社会	p.34	【基本計画 第2章 重点戦略 1-(2)】 基本的な方向性で男性と限定されている。 ジェンダーレス、ワーク・ライフ・バランスの観点から、柔軟な表現にすべき。
2 人口減少社会	-	人口減少が進んでいったときに、地域コミュニティが希薄になることが目に見えている。 その中で、地区公民館の幅広い活用方法を考えるべき。
3 人口減少社会	-	子育ての現場では、保育士が足りないことで、取り組みない事業・取組がたくさんある。 保育士が足りれば、医療的ケア児の対応などの新しい事業・取組ができ、待機児童を引き受けることもできる。
4 人口減少社会	-	教職員、保育士の充実を図るため、採用の機会を増やすとともに、就職したいと思えるようになることが重要。 教職員や保育士のマンパワーが必要であり、これは重点戦略だと考える。
5 デジタル化 脱炭素化	-	脱炭素、デジタルによって、持続可能な社会に貢献するだけでなく、市民の暮らしをより良くするという方向性をさらに打ち出せると良い。
6 デジタル化 脱炭素化	-	今回の計画にDX、GXを入れたのは、組織の縦割りを無くし、横断的に取り組んで前に進めていくという想いがあると聞いていることから、計画策定後の次の段階かもしれないが、その想いを市内部だけでなく、市民とも共有して取り組んでいく姿勢が重要。
7 デジタル化	p.57	【基本計画 第3章 分野別施策 1- 】 青少年に対する環境意識の啓発しかない。 ネットリテラシーなど、若者はデジタル化への親和性が高く、もっとできる取組があると思われる。

対応	答申(案)
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。

第3回平塚市総合計画審議会における意見とその対応

	分類	該当頁	意見内容
8	デジタル化	p.71	【基本計画 第3章 分野別施策 3 - 】 デジタル化の取組について、ちいき情報局の活用促進だけでなく、例えば、地区公民館のWi-Fi環境の整備など、市民がコミュニティの活動を行う中で、デジタルを活用できるよう、もっと幅広く利用できる環境があると良い。
9	デジタル化	-	現在の取組の延長線上で発想するから足りない感が出てくる。もっと大胆に進め、平塚市だからできることを示していくことが必要。
10	デジタル化	p.44 ~ p.45	【基本計画 第2章 重点戦略 4 - (1)】 デジタル化の取組として、物理的・ハード面の取組は見受けられるが、目に見えないソフト面の取組が見えない。例えば、サーバのクラウド化など、減災に向けたソフト面で対応できることの記載があると良い。
11	デジタル化	-	DX、ICTの活用は便利になる反面、個人情報等の漏洩リスクが高まるため、セキュリティ強化の観点も必要。
12	デジタル化	p.107	【基本計画 第4章 デジタル化・脱炭素化の取組】 ECサイトはかなり普及してきており、企業としては、勤怠管理や会計管理などバックオフィス業務にDXのニーズが高まっていることから、ECサイトに限定しないようにすべき。
13	デジタル化	p.107	【基本計画 第4章 デジタル化・脱炭素化の取組】 デジタル化するに当たっては、システム導入のコストがかかる。 デジタル化支援の補助を継続して欲しい。
14	デジタル化	p.107	【基本計画 第4章 デジタル化・脱炭素化の取組】 デジタル化導入サポートの専門家派遣を検討して欲しい。 デジタル技術を導入するだけでなく、その後のランニングコストも視野に入れて運用できるよう、長期的な計画の策定支援が必要。

対応		答申(案)
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。



第3回平塚市総合計画審議会における意見とその対応

	分類	該当頁	意見内容
15	デジタル化	-	システム導入はコストがかかるが、システムの導入を検討している企業と、システムを提供する企業とではその費用の認識に乖離があるため、システム導入はコストがかかることを周知までとはいかないまでも、共通認識を持つことが必要。
16	脱炭素化	p.13	【序論 第2章 3 本市の状況 (3)産業】 サプライチェーンの変化が見込まれるとあるが、サプライチェーンの枠を飛び越えて、平塚にある産業の横の連携を強め支えるような取組を入れるべき。
17	数値目標・KPI・成果指標	p.32 p.55 p.59	目標値が低く、達成できる前提の現実的な数値となっている。 もっと強く示す必要がある。 もっと高い数値、項目を設定すべき。 p.32 保育所等の待機児童数 p.55 小・中学校のトイレの洋式化 p.59 がん検診の受診率
18	その他	p.85	【基本計画 第3章 分野別施策 4 - 】 デジタル化・脱炭素化の取組に、「電気バスの導入支援と再生可能エネルギーの利用促進」とあるが、市内で電気バスが走っていることを知らなかった。 市が環境問題に取り組んでいることは、市民の信頼を得ることにつながるため、市民に分かりやすい情報発信が必要。
19	その他	p.97	【基本計画 第3章 分野別施策 5 - 】 取組方針に情報発信に取り組むとあることについて、発信側はなかなか分からないが、市民の方々は興味を持って聞いている。 市民の方々に情報が行き届くようにする必要がある。
20	その他	p.105 ~ p.109	【基本計画 第4章 デジタル化・脱炭素化の取組】 近隣市町の中で平塚市のデジタル化・脱炭素化の支援策が一番充実しているが、事業者が認知していない。 もっと周知・プロモーションを強化すべき。
21	人口減少社会	-	待機児童ゼロを目指すのは良いイメージがあるが、待機児童が解消された後には、少子化の影響で定員割れも考えられる。 施設を新たに作るときには理解を得やすいが、統廃合などの閉じていく視点も必要。
22	その他	p.24	本計画の構成図について、まず条例の趣旨があって計画を作っているのだから、上の矢印は下向きで良い。また、基本計画内にある上向きの矢印は、p.26で関係性が示されていることから、記載しなくても良い。
23	その他	p.32 p.36 p.40 p.44	【基本計画 第2章 重点戦略 1、2、3、4】 各重点戦略の「SDGsの目標との関連」でアイコンを追加しているが、アイコンの文字が見つからないので、工夫があると良い。

対応		答申(案)
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、デジタル化は人口減少社会における課題を解決する有効な手段であることから、今想定している取組以外にも活用できることがある。現在の取組の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって検討すること。また、利便性の向上とセキュリティの確保が両立できるよう取り組まれない。さらに、デジタル化に対応する事業者や市民の実際のニーズを踏まえて施策を進めること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の中で示されている認識のとおり、脱炭素化を、地域の産業及び市民の暮らしを向上させる方向で実現することが重要である。サプライチェーンへの影響が考えられる中で、平塚市の長所である集積した製造業において、事業者同士がネットワークを構築し対応にあたることを望ましい。また、暮らしを支える交通などまちづくりに関する取組も検討されたい。公民連携及び分野横断的な幅広い視点から施策を検討し進めてもらうことを期待している。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	達成できることが前提となるような目標値ではなく、より高い目標値を掲げて計画を推進していただきたい。また、社会経済環境の変化が目まぐるしいことから、4年後の見直しの際には、今回設定した指標の数値に捉われず、定性的な表現も含めて検証をされたい。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の策定をゴールとせず、実施計画や個別計画において、基本計画の方向性に沿った施策を展開するとともに、市が展開する施策・事業・取組などについて、積極的なプロモーションに取り組み、市民・企業にも、市が進む方向を理解してもらうこと。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の策定をゴールとせず、実施計画や個別計画において、基本計画の方向性に沿った施策を展開するとともに、市が展開する施策・事業・取組などについて、積極的なプロモーションに取り組み、市民・企業にも、市が進む方向を理解してもらうこと。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	基本計画の策定をゴールとせず、実施計画や個別計画において、基本計画の方向性に沿った施策を展開するとともに、市が展開する施策・事業・取組などについて、積極的なプロモーションに取り組み、市民・企業にも、市が進む方向を理解してもらうこと。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	新たに施設整備や事業実施を行う際には賛同を得やすいが、廃止・統合していく際には理解を得にくくなる。しかしながら、人口減少は避けられないことから、縮小していく社会に適合させる視点をより意識して、量を減らしながら質を高める視点をもって、各事業を展開すること。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	多くの市民の目に触れる計画であることから、使用する語句、文章表現、用語の統一・解説などをできる限り工夫し、市民にとって分かりやすい記載とされたい。
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。	多くの市民の目に触れる計画であることから、使用する語句、文章表現、用語の統一・解説などをできる限り工夫し、市民にとって分かりやすい記載とされたい。

第3回平塚市総合計画審議会における意見とその対応

分類	該当頁	意見内容
24 その他	p.135～	【資料編 7 用語解説】 横文字(DX(デジタル化)、GX(脱炭素化)、ZEB、ZEHなど)が何の略か分からない。 略の説明を記載した上で、本書での取扱いを記載するなど、分かりやすい説明にすべき。 「災害時のレジリエンス」は「レジリエンス」で分類すべき。
25 その他	p.80	【基本計画 第3章 分野別施策 4 - 1】 課題において、地域における犯罪や消費者被害を未然に防止する必要があるとしているが、市民が被害に遭わないと思える具体的な取組がもっとあると良い。
26 その他	p.82	【基本計画 第3章 分野別施策 4 - 1】 平塚駅は大きな拠点であることから、例えば、平塚駅自体の上部利用など様々な要素をひっくるめて考えていくことで、その周辺地区が今後どのようなようになるか分かると良い。 具体的なになるとお金がかかることはあるが、それよりもまずどのような絵を描くかが重要。
27 その他	p.82	今年度策定する市の最上位計画である次期総合計画と、令和6年度に策定する平塚駅周辺地区将来構想をしっかりとリンク付けすべき。
28 数値目標・KPI・成果指標	-	【基本計画 第2章 重点戦略 2 - (1)】 基本的な方向性に誘致とあるが、KPIには、「企業立地支援件数【累計】」はあるものの、誘致についてのKPIがないので、誘致といったような用語があると良い。
29 脱炭素化	p.109	【基本計画 第4章 デジタル化・脱炭素化の取組】 企業の省エネ、節電、再生エネルギー使用のニーズが高い。 脱炭素設備投資の補助を継続するとともに、年度に区切られない長期的な支援があると良い。
30 数値目標・KPI・成果指標	p.36	【基本計画 第2章 重点戦略 2】 数値目標に「入込観光客数」とあるが、観光は文化的な要素が背景にあり、産業として育んでいくにはまた別の要素が必要であることから、観光と産業は離して考えたほうが良い。
31 デジタル化	p.106～ p.107	【基本計画 第4章 デジタル化・脱炭素化の取組】 市民にとっては、行政サービスのデジタル化のほうに関心が高いので、具体的な取組で追記できることがあったと良い。

答申(案)に反映

計画案に反映

参考

対応	答申(案)
答申(案)に反映	答申(案)に反映します。
計画案に反映	危機管理課では、防犯カメラの設置支援に取り組んでいます。この中で、警察へ情報提供するクラウドカメラも設置しているところ。このような取組を表すものとして、計画案に「ICTを活用した防犯カメラによる警察への迅速な情報提供」を追記します。
計画案に反映	平塚駅周辺地区将来構想は令和6年度中の策定となっていることから、総合計画の策定直前まで、その整合性を図ることとしています。御意見を踏まえ、駅周辺の将来像を表す文言として、分野別施策4 - 1の目指す姿に「リビングのような誰もが気軽に入りの空間や体験を見つけることができるまちづくりが進み」と修正するとともに、現状に「平塚駅周辺地区の将来像を示す構想の策定とその実現に向けた取組を進めています。」と追記します。 また、立地適正化を表す文言を、分野別施策4 - 1の現状に「コンパクト・プラス・ネットワークの形成に向けた計画の策定を進めています。」と追記します。
計画案に反映	平塚駅周辺地区将来構想は令和6年度中の策定となっていることから、総合計画の策定直前まで、その整合性を図ることとしています。御意見を踏まえ、駅周辺の将来像を表す文言として、分野別施策4 - 1の目指す姿に「リビングのような誰もが気軽に入りの空間や体験を見つけることができるまちづくりが進み」と修正するとともに、現状に「平塚駅周辺地区の将来像を示す構想の策定とその実現に向けた取組を進めています。」と追記します。 また、立地適正化を表す文言を、分野別施策4 - 1の現状に「コンパクト・プラス・ネットワークの形成に向けた計画の策定を進めています。」と追記します。
計画案に反映	御指摘いただいた指標の内容は、実際に増改築した件数をカウントしています。御指摘のとおり、「支援」という表現では、指標に込めた内容と合致しないため、「企業立地・増改築助成件数」と修正します。
参考	御意見を受けて、単年度主義が原則となっていますが、利便性の高い運用ができるよう、条件付きでの事前契約などについて、財政部局、産業振興部局と研究いたします。基本計画への書き込みではなく、具体的な事業を進める上で、参考とさせていただきます。
参考	重点戦略は、国が策定を求める地方版総合戦略として位置付けています。的確な御意見・御指摘と捉えておりますが、国や県の戦略を踏まえることに加え、活用できる国の交付金の幅を広げるためにも、現在の書き込みのままさせていただきたいと考えます。
参考	行政サービスのデジタル化については、総合計画の両輪となる行財政改革推進計画において取り組むよう棲み分けをしております。現在、行財政改革推進計画も策定作業を進めており、この中でキャッシュレス化や窓口のスマート化(書かない窓口など)に取り組むこととしています。

24

4

3

31